※記載例を参照の上、ご記入ください。

（様式第3号）

企業・団体名（　　株式会社　木族の家　　）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本（必須）			・多様性を尊重し、差別や偏見のない社会づくりに取り組む					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本（必須）			・ﾊﾟﾜﾊﾗやセクハラなど、あらゆるハラスメントを禁止し、お互いを尊重する職場環境をつくる。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本（必須）			・労働時間の削減や休暇取得を促進し、働きやすい職場環境を整える。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本（必須）		【予定】	・外国人労働者を雇用する場合は、国籍による差別のない適正な労働環境を整える。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本（必須）			・職場の安全管理を徹底し、事故やケガの防止に努める。 現場ﾊﾟﾄﾛｰﾙ実施・現場検討会実施			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本（必須）			・ストレス軽減や働きやすい環境づくりを通じて、メンタルヘルスの維持・向上に努める。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本（必須）			・多様性を尊重し、一人ひとりが能力を発揮できる職場環境づくりを推進する。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本（必須）			・従業員のスキル向上を目的とした人材育成に取り組む。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本（必須）			・性別や年齢などに関わらず、公平で適切な待遇を行う。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	基本（必須）			・従業員の健康維持・増進に努め、心身ともに健康に働ける職場環境づくりに取り組む。 健康診断・月いでの整体師訪問			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本（必須）			・廃棄物の削減とﾘｻｲｸﾙの推進に取り組む。 薪・木くずは寄与											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本（必須）			・エネルギー使用量や温室効果ガス排出量の現状把握を行い、太陽光発電の活用などにより環境負荷の削減に取り組む。							7.3						13				
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本（必須）			・自社にF-CON(光冷暖)システム導入ﾃﾞｰﾀの取得解析を行う。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本（必須）			・有害化学物質の使用状況を把握し、適切な管理に努める。 アスベスト調査実施			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 （必須）			・自然環境に配慮し、生物多様性の保全に努める。 ・木の家を推進する【木づかい運動】で森の保全活動に努る。						6.6									15		
16		【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 （必須）			・3Rの推進により、資源の有効利用と廃棄物削減に取り組む。 現場資材の再利用、木端材利用による木工教室開催、薪、木くずの寄与												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ （任意）		【予定】	・水資源の有効利用に配慮し、環境負荷の低減に取り組む。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ （任意）		【予定】	・環境負荷の低減を目指し、環境管理体制を整え継続的な改善に取り組む。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	基本 （必須）			・環境への取り組みについて適切な情報開示を行い、透明性の高い事業活動に努める。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	基本 （必須）			・太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を推進し、環境に配慮した住まいづくりに取り組む。 自社にて太陽光発電設置済							7.2						13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	基本 （必須）			・木材などの天然資源の有効活用を行い、持続可能な住まいづくりに取り組む。 県産材を継続的に利用												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			・法令を遵守し、汚職や贈収賄の防止など公平で透明性のある事業運営に取り組む。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 （必須）			・法令を遵守し、公平で公正な競争環境の維持に努める。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 （必須）			・地底財産権を尊重し、適切な管理･保護に取りくむ。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 （必須）			・個人情報の適切な管理を行い、情報保護の徹底に取り組む。 サーバーのセキュリティ強化																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って**いないこと**を確認している	チャレンジ （任意）			・紛争鉱物の使用に配慮し、責任ある調達に努める。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ （任意）		【予定】	・取引先と連携し、適正で持続可能なサプライチェーンの構築に努める。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 （必須）		【予定】	・取引先との信頼関係を大切にし、公正で良好なパートナーシップの構築に努める。			3					8	9	10							17

項目番号		チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）			・住宅の品質と安全性の確保に努め、安心して暮らせる住まいづくりを行う。 ・現場パトロール、検討会を継続			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）			・住宅の品質管理を徹底し、安心して長く住める住まいの提供に努める。 ・アフターメンテナンスを定期的に行い、経年劣化による品質保証サービスの実施									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	基本 （必須）			・環境負荷の低減に配慮し、環境にやさしい事業活動を行う。						6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・住まいづくりを通じて社会問題の解決に貢献し、持続可能な社会の実現に取り組む。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			・地域環境や景観に配慮し、地域に根ざした住まいづくりに取り組む。 地域で開催される催事に参加				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	基本 （必須）			・公益財団法人 長野県みらい基金様にて【木族の家・子ども基金】を創設、木工教室の売上金を寄付を行っている。子供向け絵画展実施				4							11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	基本 （必須）			・県産材を全ての現場で60％以上使用し、地消地産 に取り組んでいる。								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 （必須）			・経営理念及び経営目標を社内で共有し、全従業員で目標達成に取り組む。								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 （必須）		【予定】	・法令遵守を徹底し、社会的責任を果たす事業活動に取り組む。																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 （必須）		【予定】	・適切な組織体制を構築し、責任ある事業運営に取り組む。																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			・お客様や地域社会などのステークホルダーとの対話を大切にし、信頼される住まいづくりに取り組む。																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）		【予定】	・事業活動におけるリスクを把握し、適切なリスク管理に取り組む。																16	
41		【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）		【予定】	・社会的責任を自覚し、誠実で責任ある事業活動に取り組む。																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）		【予定】	・事業継続に向けた体制を整備し、持続可能な事業運営に取り組む。									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）		【予定】	・次世代への事業継承を見据え、持続可能な企業運営に取り組む。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、ＮＡＧＡＮＯものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件２」は、ISO26000（※１）、RBA（Responsible Business Alliance）（※２）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、　間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※１…組織の社会的責任に関する国際規格　　※２…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定